



Support

<http://www.city.niigata.lg.jp/kosodate/gakko/index.html>

第7号

平成27年11月19日

編集・発行

学校支援課 広報担当

「アグリ・スタディ・プログラム」第2版が発行されます

「アグリ・スタディ・プログラム」をご活用いただき、ありがとうございます。

昨年6月に第1版、この春には補遺編を発行しましたところですが、この度、第2版を発行することとなりました。では、なぜこんなに早く第2版を発行することになったのでしょうか。

それは、現場の先生方に「アグリ・スタディ・プログラム」をこれまで以上に活用していただき、子どもたちに実感の伴った確かな学びを実現していただきたいからです。

アグリパークをはじめ教育ファームには、本物の牛や羊、山羊、農作物、その世話や栽培に携わっている人などがいます。「〇〇ごっこ」ではない、リアルな体験ができる場です。また、各プログラムは、学習指導要領、幼稚園教育要領、保育所保育指針に準拠しています。子どもたちは本物に触れることにより、知識と体験を結び付け、豊かに学ぶことができます。また、より適正な料金で体験学習ができるように費用を見直しましたので、あわせてご確認ください。

各学校には 近いうちに配付されます。ぜひ、積極的にご活用ください。



実践例 「そうだったの！土のみみつ」

1 関連する単元名 小学校1年 生活 「すてきなお花をさかせましょう」（13時間）

2 関連する単元の目標

- ・花を育てる活動を通して、それらの育つ場所、変化や生長の様子、生命をもっていることに気付くとともに、大切に育てる気持ちをもつことができるようにする。
- ・がんばって世話を続けてきた自分に気付き、自分の成長を実感することができる。

3 関連する単元の流れと体験学習の位置付け

(1) お花をそだてよう（1時間）

- ・知っているお花、育てたいお花について話し合う。（種から育てる）

(2) さあ、そだてるぞ（5時間）

- ・育てたい花を決め、種や育て方を調べる。
- ・元気なよい花を育てるために、必要な作業や条件について経験等をもとに考えたり予想したりして、学習課題をつくる。
- ・花の先生に教わりに行くことを知る。

学習課題例

きれいなお花がたくさん咲くための土は、どんな土だろうか。

アグリパークでの体験学習 <3時間>

①よい土調べ→②よい土クイズ ③堆肥場めぐり、牛のえさやり体験→④土作り体験

まとめのメモ例

「すきがたくさんあって、水、くうき、ひりょうがたくさんはいつているふかふかの土。」
「うしのふんやなまごみをつかったたいひが入っている。だんだんたいひになっていく。」

- ・アグリパークで教わったこと、知ったこと（土に関する事など）をカードにまとめる。
- ・アグリパークで自分で配合した土、花の種を播いたり、種から育てた花の苗を植える。

「学習課題」と「まとめ」が表記されています。授業のねらいを明確にして、学習をすすめられます。



今回のプログラム改訂のポイント

～教育ファームの環境的、人的な資源を生かして～

教育ファームの環境的、人的な資源を生かし、子どもたちの追究を促進するために今回の改訂では次の点を大切にしました。

- 1 全てのプログラムに「学習課題例」「まとめのメモ例」を表記し、授業のねらいを明確にして、学習が展開できるようにしました。
- 2 「本時の展開例」に教師が学習課題を設定したり授業のまとめや振り返りを行うように位置付ける等、教師の働き掛けを明確にしました。
- 3 幼稚園、保育園、中学校用のプログラムの収録数を増やし、発達の段階に応じて本プログラムを活用しやすいようにしました。
- 4 これまでのプログラムを見直し、子どもの思考の流れに沿いつつ、インストラクターの役割を明確にしました。
- 5 体験学習に要する費用、1班あたりの最大人数を見直し、より適正な料金で体験できるようにしました。

わあ、大きいな。初めて「ちちしぼり」をしたよ。あったかいんだな。1日にどれくらいとれるのかな？そのまま飲んだらいけないの？～本物に出会った子どもたちは感動を課題に変えていきます。そこがチャンスです。～



特に1に関して、今年度はアグリパークで「学習課題」「まとめ」「振り返り」を引率の先生が行っている実践がたくさんありました。この授業フレームが学校の中だけでなく、アグリパーク等の教育ファームにも広がっています。

また、活動中は、先生方が子どもの気付きが表出されるように言葉をかけたり、子どもの頑張りを認め、ほめたりする等の働き掛けも随所に見られました。インストラクターや専門家に任せっぱなしではなく、ティーム・ティーチングによる授業として教育ファームでの体験学習が行われるようになってきました。これは、日々授業改善に着眼して教育活動を進めている新潟市の先生方の力量の表れです。

こうした体験学習を今後も大切にさせていただき、「アグリ・スタディ・プログラム」の一層の活用をお願いします。

